

平成20年度(2008年度) 建設コストの計画と実績

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成19年度まで (B)	平成20年度 (C)	計 (D) = (B) + (C)		
中 日 本 高 速 道 路	近畿自動車道尾鷲多気線 紀勢大内山IC～大宮大台IC新設事業 10.4km	30,503	0	26,358	26,358	4,144	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	第一東海自動車道 海老名SA～厚木IC改築事業	3,857	0	1,882	1,882	1,974	本線工事は完成し供用を開始しているが、財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	東海北陸自動車道 瓢ヶ岳PA～郡上八幡IC改築事業	31,412	0	25,320	25,320	6,091	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	東海北陸自動車道 ぎふ大和IC～白鳥IC改築事業	13,640	0	9,177	9,177	4,462	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	近畿自動車道名古屋亀山線 四日市JCT～亀山JCT改築事業	7,209	0	4,997	4,997	2,211	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	近畿自動車道尾鷲多気線 奥伊勢PA新設事業	961	0	690	690	270	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	東海北陸自動車道 飛騨清見IC～白川郷IC新設事業 25.0km	77,296	0	77,296	77,296	0	
	中央自動車道富士吉田線 八王子JCT(北側)新設事業	10,424	9,992	237	10,230	193	低価格入札差額、事業損失等の範囲見直し及び土地準備の精査による。
	中央自動車道西宮線 飯田山本IC改築事業	2,519	235	1,568	1,804	714	工事等数量の確定により差額が生じたもの。
	第一東海自動車道 沼津IC改築事業	1,885	0	515	515	1,369	接続する東駿河湾環状道路の供用が平成21年度に予定している。平成20年度は、沼津ICの料金所付近の拡幅について完成し、一部供用を行っている。
	東海北陸自動車道 郡上八幡IC～ぎふ大和IC改築事業	20,449	0	346	346	20,102	本線工事は完成し、平成21年度を予定している。平成20年度は、東海北陸自動車道の全線開通に伴い広域情報板等の設置を行った。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 八王子JCT～あきる野IC新設事業	15,967	13,476	773	14,249	1,717	低価格入札差額、発生材の有効利用及び関係機関との事業調整に伴う事業の一部見直しによる。
	一般国道475号(東海環状自動車道) 五斗崎PA改築事業	1,110	858	9	868	241	低価格入札差額及び工事数量等の精査による。
	中央自動車道富士吉田線等 平成20年度修繕事業	39,827	-	27,416	27,416	12,411	工事の発注規模の大型化による複数年度工期設定に伴う機構引渡し時期見直し等による。
	一般国道1号(箱根新道) 平成20年度修繕事業	315	-	90	90	224	工事の発注見直しによる複数年度工期設定に伴う機構引渡し時期見直し等による。
	一般国道16号(八王子バイパス) 平成20年度修繕事業	110	-	7	7	102	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
	一般国道139号(西富士道路) 平成20年度修繕事業	136	-	24	24	111	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道 路)) 平成20年度修繕事業	12	-	4	4	7	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
	中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	30,292	330	4,690	5,020	25,271	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引渡限度額として設定している。平成20年度は、平成19年9月に台風で被災した箇所の復旧工事の一部等の引渡しを行っている。

注1)平成20年度(2008年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、[]は、平成20年度に完了している事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成20年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成19年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。